

## 学部便り 理学部 有馬一成

理学部同窓会では、同窓会幹事と学部長、副学部長が定期的に話し合い、協力して学部および学部学生のサポートを行っています。ひとつには、理学部では年に1回、稲盛賞の受賞に併せて「理学部賞」というかたちで学生表彰を行っていて、同窓会も支援させていただいています。成績が優秀であったり社会貢献を行った学生の中から選ばれる稲盛賞と理学部賞ですが、4つある各学科から少なくとも一人はいずれかを受賞できることで、学生にとってはよい動機付けになっています。また8月には同窓会からテント3張りを寄贈しました。実は一昨年の大学祭で、理学部から貸し出されていた模擬店のテントでぼや騒ぎがあり、テントの一部が消失してしまいました。大事には至らなくてよかったです。そこで同窓会としては、テントの貸出規則を充実させていただくことを条件に、今度は耐火性のテントを寄贈し、現在種々のイベントで活用いただいています。

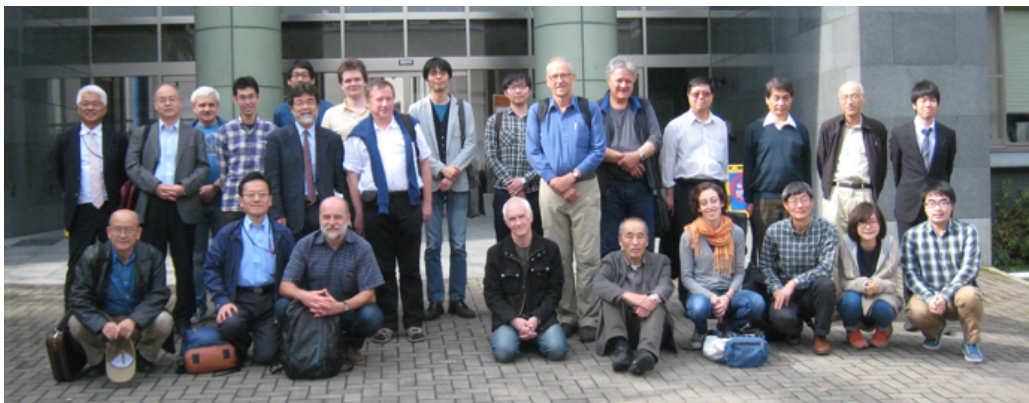


写真左：理学部同窓会より寄贈されたテント



写真右：ソフトボール大会参加の理学部生

また、理学部では国際交流にも積極的に取り組んでいます。平成27年11月23日～27日の5日間、第6回日豪実・複素特異点研究集会（The 6<sup>th</sup> Japan-Australian Workshop on Real and Complex Singularities : JARCS6）が、與倉学部長先生をはじめ国内外の研究者62名が参加して開催されました。前半はフィールズ賞受賞者で特異点論の世界的権威である廣中平祐先生にもご出席いただき有意義な議論が交わされました。次回は2年後、シドニー大学での開催を予定しています。



写真：第6回日豪実・複素特異点研究集会参加者（理学部1号館前にて）